

令和 6 年 11 月 6 日

【南河内初の快挙】地方公務員アワード 2024 にて

大阪府羽曳野市魅力づくり推進課課長が受賞

実際の高齢者に参加してもらった新型コロナワクチン接種訓練での大規模シミュレーション実施や、独自の啓発企画での効果的な広報活動などが評価され受賞に至り、10 月 13 日（日）表彰式が行われました。



受賞の様子

株式会社ホルグが主催する「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード 2024」において、羽曳野市都市魅力部 魅力づくり推進課の辻村真輝課長が南河内初の受賞者に選ばれ、10 月 13 日（日）東京都品川区の大崎ブライトコアホールで表彰式が開催されました。

今回の受賞は、新型コロナウイルスワクチン接種推進室に配属されていた際、全国に先駆けて 1 日 2000 人の接種体制をシミュレーションし、実際に 400 名の高齢者に参加いただいた大規模な接種訓練を実施したこと等が評価されたものです。この訓練で作成した実施マニュアルや配置図面は全国の担当者にも提供され、日本国内におけるワクチン接種の推進に大きく貢献しました。

この評価に対し、辻村氏は「ワクチン接種に関わった人みんなが命を削って業務を行い、また、全国のワクチン担当も初めてで、どうしていいかわからない状況でも今後につながる、参考にできるようみんなで意見を出し合った。今回の賞はワクチン業

務に関わったすべての人と一緒に受賞したものと思っている」とコメント。1人の力ではなく関係する方々の尽力もあり受賞に至ったことを伝えました。

さらに、“職員が力を発揮できる環境づくり”が評価され、羽曳野市には『人材輩出賞』も受賞、羽曳野市の職員が持つ高い専門性と市の人材育成の成果が広く認められました。今後も市民の皆さまと共に、魅力あるまちづくりを推進し、さらなる発展を目指してまいります。引き続き、羽曳野市の取り組みにご注目いただければ幸いです。

参考：『地方公務員アワード 2024』辻村 真輝（羽曳野市 都市魅力部 魅力づくり推進課 課長）（<https://www.holg.jp/award/2024-10/>）



受賞者プロフィール

受賞者名：辻村 真輝（つじむら まさあき）

平成5年4月入庁。保険年金課・下水道総務課・大阪府文化振興財団出向の後、文化会館にて文化事業・イベントプロデュースに携わる。平成17年4月市長公室秘書課配属。以降16年間秘書課所属のまま各種プロジェクトチームを渡り歩き、この間、最大7部署の兼務をもちながら市の様々なプロジェクトを立ち上げる。

令和3年2月、新型コロナウイルスワクチン接種推進室配属。全国初となる1日2,000人が接種できる大規模集団接種体制を構築。オンライン市役所を通じて全国の担当者にそのノウハウを伝授し、日本国内におけるワクチン接種推進の一助となる。

現在は魅力づくり推進課で観光、シティプロモーションのほか、ふるさと納税も担当。そのリーダーシップと独創的な取り組みにより、様々な分野において大きな成果を挙げており、地域住民からも厚い信頼を得ている。

また、多忙な業務の傍ら『狩猟免許』『イベント業務管理士1級』『観光士』『お肉ソムリエ』など様々な資格を取得し、自身が関わる業務に役立てている。

審査員からのコメント

審査員の方々からは以下のコメントをいただいております。

- ・ 短期間で大規模な集団接種を実現、また高齢者の方々に訓練をされたり、その先進的事例を自ら考え作られ、全国のモデルを作っているのが本当にすごいです！その他の取り組みや行動力も凄すぎます！
- ・ 外に飛び出せる公務員がなかなかいない中、積極果敢に飛び込んで住民生活の向上に結び付けるバイタリティーはすごいとしか言いようがありません。

地方公務員アワードについて



株式会社ホルグが主催する「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード」は、今年で8回目の開催となる地方公務員の優れた功績を広く伝えることを目的としたイベント。公務員個人の業績が注目されにくい中、組織の成果向上を目指して公務員を称賛する場を提供してきました。メディアの影響を受けて、公務員の活動がより認知され、自治体のブランド向上にも寄与しています。今年は全国から147名の応募があり、その中から11名が受賞しました

参考：『地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード2024』結果発表

(<https://www.holg.jp/award/2024-02/>)

表彰式の様子



登壇の様子



市ご当地キャラクターの「つぶたん」も登壇



ご当地お土産awardも大盛況

記念品贈呈での登壇は羽曳野市ご当地キャラクター「つぶたん」も一緒に登壇。会場が和やかな雰囲気になりました。



パネルディスカッションの様子



笑いの絶えないディスカッション



グラフィックレコーディング

モデレーターによんな会発起人の脇 雅昭氏、解説審査員の同前 嘉浩氏をお迎えしてのパネルディスカッション「受賞者に訊く」が行われ、まじめな話だけかと思いきや笑いを交えた賑やかなディスカッションでした。また、会場には当日のトーク内容を即興で絵とコメントでまとめる「グラフィックレコーディング」も作成されました。



受賞者集合の様子

受賞者の方々。仕事への情熱や仲間への思いなどを、皆さん生き生きとした表情で語られていました

問合せ	羽曳野市都市魅力部魅力づくり推進課 電話番号 072-958-1111（内線：2734）
-----	---